United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：２０１３年４月～２０１４年３月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、ＨＰ等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

１．学校概要

学校名　見附市立新潟小学校

種別　☐保育園・幼稚園　✓☐小学校　☐小中一貫教育
☐中学校　☐高等学校　☐中等教育学校
☐教員養成　☐技術/職業教育
☐その他（　　）

住所　〒９５４－０００６

E-mail：mniigata@mitsuke-ngt.ed.jp

Website：http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~mniigata/

児童生徒数：男子 56 名　女子 42 名　合計 98 名

児童・生徒の年齢　6 歳～12 歳

２．担当者　※公表しません

３．実施活動（複数選択可）

☐　地球規模の問題に対する国連システムの理解
☐　国際理解
☐　世界遺産
☐　平和・人権
☐　環境
☐　気候変動
☐　生物多様性
☐　エネルギー
☐　防災
☐　食育
✓☐　伝統文化
☐　そのほか（　　）

４．活動内容

（１）１年間の主な活動内容について記載願います。
※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

普通の音楽や演劇と違い、楽譜や動き方の本は無い。したがって、すべてのことを頭と体で覚えることとなる。最初は、どのようにやったらいいのか、どのように覚えたらいいのか、手がかりがない状態で、子どもたちも戸惑うことが多い。しかし、練習を繰り返す中で、自分なりの覚え方ができるようになり、少しずつできるようになっていく。自分の目と耳をはじめとする身体全体で学んでいる。

６年生は、秋になると、４年生に自分が学んだことを伝える。それまで、指導者や先輩から学んできたことを自分なりに工夫して教えている。自分が学んだときのコツや覚え方、気を付けることなど、４年生にも分かりやすいように教え、引き継いでいる。

４･５･６年生が総合的な学習の時間を中心に、獅子舞の歴史や継承の様子、保存会の方の思いなどを調べ、伝統芸能の意味と継承の大切さに気付き、地域に伝えていく活動を行っている。

年３回「獅子の日」を設定し、全校で獅子舞について学んでいる。高学年の児童が低学年の児童に、獅子舞の歴史や言われを伝えたり、笛・太鼓・獅子に直接触れたりする活動を通し、全校児童が獅子舞と関わる取組を行っている。低学年の子どもたちは、実際の発表を見ることと、獅子の日の活動を通して、獅子舞に対する理解と自分も高学年になったらやるというあこがれの気持ちを持っている。

毎年、８月に行われる小栗山不動院大祭では、５・６年生が獅子舞を披露している。学校の文化祭は、６年生の最後の発表の場として位置付けて実施した。保護者だけでなく、地域の方も見に来てくださっている。１０月の地域コミュニティのフェスティバルでは、５年生が初めて保護者や地域の人に獅子舞を披露する場として位置付けている。どの発表でも獅子舞の披露だけでなく、どのように取り組んでいるか、どのような気持ちや考えで取り組んでいるかを紹介している。また、見附市の「大芸能祭」では、見附市文化ホール「アルカディア」を会場とし、500 名を超える市民の方から見ていただいた。毎年のようにこのようなフェスティバルに参加することで、獅子舞が見附市の伝統芸能として多くの人に認められるようになってきている。他にも、特別養護老人ホームなどの慰問活動で披露し、福祉・ボランティア活動を行うことで、豊かな心を育む活動を進めた。

また，獅子舞の由来を紙芝居にし，多くの人に知ってもらうと紙芝居文化推進協議会主催の「第１４回　手づくり紙芝居コンクール」に応募し，大賞である「加太こうじ賞」を受賞した。審査員から次のような評価をもらった。

「図工クラブのみんなで地域の伝統芸能民話に取り組まれたことが素晴らしい。脚本も絵も無駄なくよくできている。それにしてものびのびとした絵が実にいい。獅子舞も迫力があり迫ってくる。さすが地元ならではの力強さである。グループ制作の楽しさも伝わってくるいい作品ですね。地元でどんどん演じてく

ださい。」
　特に２５年度は，獅子舞のこれまでの活動が認められ，第４４回博報償を受賞し，日本文化理解教育部門の中で文部科学大臣奨励賞に選ればれた。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

✓□　通常の授業時間を使用（総合な学習の時間を含む）
□　時間外活動の時間を使用
□　ユネスコクラブの活動として実施
□　その他（　　）